

大学、地域の支援機関、企業をつなぐ 『のりしろ』のある就労移行とは

岐阜大学保健管理センター 准教授
臨床心理士/公認心理師/大学カウンセラー
堀田 亮

horita.ryo.t5@f.gifu-u.ac.jp

岐阜大学

- 学生数：約7000人
- 6学部等9研究科等

保健管理センター

- 医師3名（内科、精神科）
- 心理士3名（内非常勤2）
- 障害学生支援Co.1名
- 保健師看護師6名

保健管理センターウェブサイト



HOME センター紹介 各種相談 アーカイブ 健康診断 ウェルネス 感染症 留学 ご寄附

JP | EN

WEB予約



自己紹介

研究業績

researchmap



心理学

flasko



障害学生支援

ひと呼吸



サッカー

心理臨床の広場



岐阜大学 准教授

保健管理センター・医学部附属病院・

医学教育開発研究センター・連合創薬医療情報研究科

臨床心理士・公認心理師・大学カウンセラー

生まれ（ただけ）は東京、育ちは北海道

臨床心理学、学生相談、障害学生支援、地域連携



@RYOHORITA.PSYCHOLOGIST

CCAPS

岐大のいぶき



CCAPS-iQAS

Website



おまけ

Feature Story News



自己紹介 障害学生支援



発達障害学生支援に関するシンポジウム・Webセミナー

発達障害学生支援に関するシンポジウム・Webセミナー

発達障害学生支援に関する大学と地域の連携体制構築をめざして

2017年9月10日(日)

時間: 13:00-17:40 (開場12:30)

会場: 岐阜大学サテライトキャンパス

定員: 100名 参加費無料

2017

発達障害学生支援に関する大学と地域の連携の実践

2018年10月14日(日)

時間: 13:00-17:40 (開場12:30)

会場: 岐阜大学サテライトキャンパス

定員: 100名 参加費無料

2018

専門職養成学部における発達障害のある学生の支援を考える

2019年10月27日(日)

時間: 13:00-17:40 (開場12:30)

会場: 岐阜大学サテライトキャンパス

定員: 100名 参加費無料

2019

COVID-19流行下で発達障害学生には何が起こっていたのか

2020年9月6日 10:00-12:00

Zoomによるオンライン開催

定員: 100名 参加費無料

2020

専門職養成における発達障害者支援 教員養成課程・学校現場でのシームレスな支援を考える

2021年10月3日(日)

時間: 9:30-12:00

Zoomによるオンライン開催

定員: 100名 参加費無料

2021

専門職養成における発達障害者支援 医療者教育で必要な支援を考える

2022年9月4日(日)

時間: 9:30-12:00

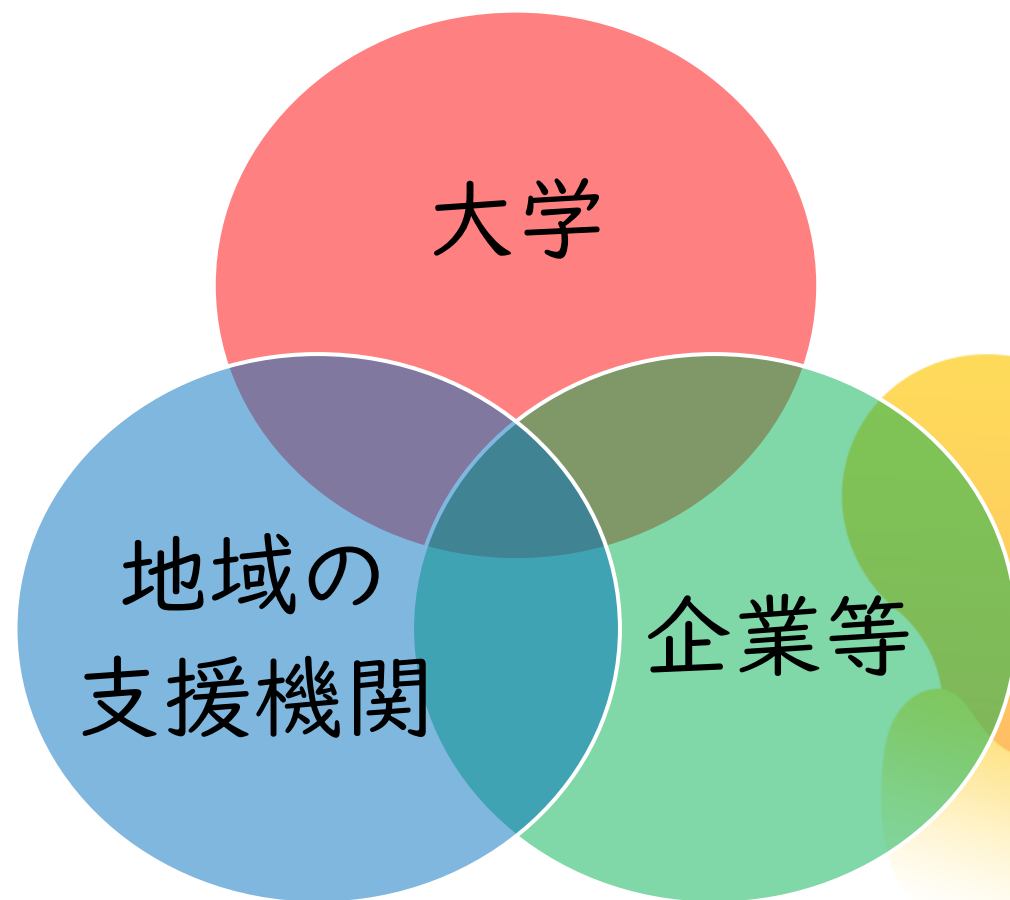
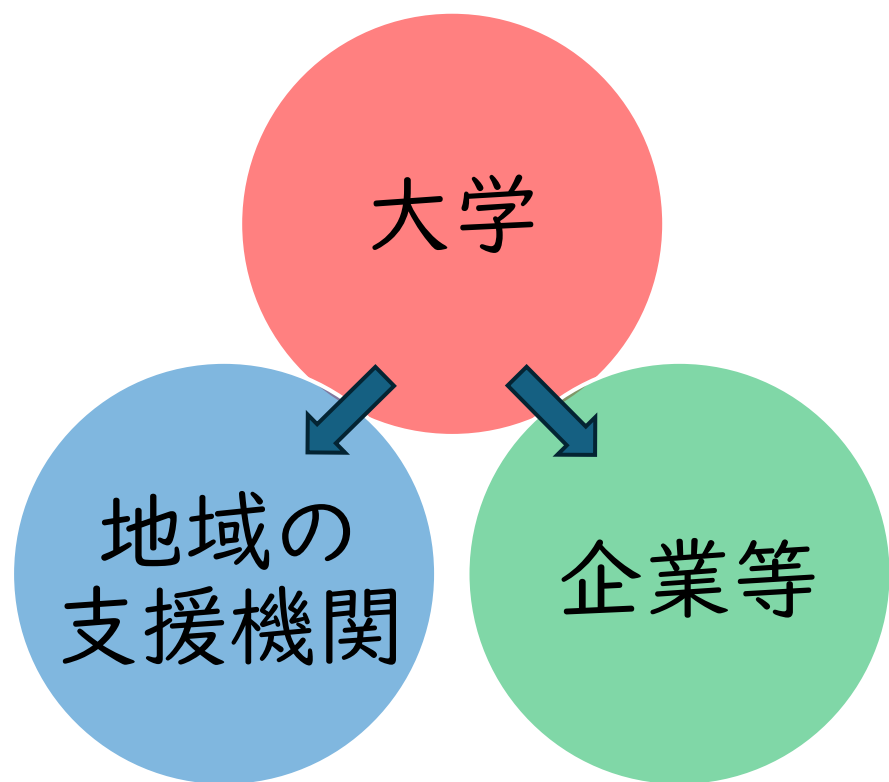
Zoomによるオンライン開催

定員: 100名 参加費無料

2022

「シームレス（継ぎ目のない）」→「のりしろ」へ

卒業、退学してからではなく、在学中から協働支援を



のりしろのある支援の実際

障害およびその特性のある学生に学内支援と並行して、、、

- 在学中に支援機関のスタッフと面談
- 在学中に支援機関のプログラムに参加
- 在学中に支援機関を通じて企業見学、インターン

当たり前のこと？

しかし、「障害者雇用」と「地方都市の地域課題」
をかけ合わせると…

大企業（都市部）と中小企業（地方）の雇用の異なる動機

- 人口減少による「働き手不足」は共通課題
- 「戦力」となる働き手が欲しいのも共通課題

障害のある人の雇用を考える時に

- 大企業（都市部）：「障害者」を雇用したい
→ 法定雇用率の充足
- 中小企業（地方）：障害の有無は関係なく採用したい
→ 法定雇用率の適用外
→ 若者、大学生の採用経験がない

※都市と地方、大企業と中小企業の分類は課題をクリアにするための目安のひとつです。

のりしろのある支援カオスマップ@岐阜大学モデル		
	在学中から＝のりしろのある支援	(主に) 卒業・退学後
行政事業	ジンチャレ！ WORK!DIVERSITY 超短時間ワーク 障害者職業センター ハローワーク 発達障害者支援センター	障害者就業・生活支援センター※ 若者サポートステーション 上記※は、通称「なかぼつ」
民間支援	キャリアプロ ぎふキャリ 働くチカラPROJECT 家でも就活オンライン	就労移行支援 就労継続支援（A型・B型） 就労選択支援 就労定着支援
大学企業連携	HEAP連携校 PHEDタウンミーティング 中小企業家同友会：見学やインターン	中小企業家同友会：雇用

岐阜市の取り組み

- WORK!DIVERSITY in 岐阜
- 岐阜市超短時間ワーク

WORK! DIVERSITY プロジェクト in 岐阜

働きづらさを乗り越え、
新たなキャリアへ踏み出す一歩

岐阜市の人口
397,308人
2025年8月1日時点

働きづらさを抱える岐阜市民
48,000人
およそ8人に1人

Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION

WORK! DIVERSITY プロジェクト in 岐阜とは

働きづらさを抱える岐阜市民を対象とした、
新しい就労支援モデルをつくるプロジェクトです。
さまざまな理由から「働きたいのに働けない」状況にある方へ、
就労系障害福祉サービスを活用した就労支援を提供し、
就職・職場定着するまでを全面的にサポートします。
当事者の方やご家族の方、悩まれている方がいらっしゃいましたら
一度ご相談ください。お待ちしております！

出典：一般社団法人サステイナブル・サポート

「超短時間雇用」とは？



超短時間雇用のニーズとメリット

超短時間ワーカー（求職者）

企業で働く。QOL=Quality of lifeが上がる。

- 働く能力はあるが、障がい等の理由から短時間働きたい。
- 臨機応変に仕事を行うことは難しいが、決まった仕事はコツコツやり遂げられる。

企業

生産性アップ。企業価値の向上。

- 人材が不足しており、人手がほしい。
- 社員の残業が多く、困っている。
- 着手できていない業務がある。

岐阜市は、超短時間雇用の「先進都市」！

岐阜市では、令和4（2021）年度より、ワークダイバーシティの取り組みのひとつとして「岐阜市超短時間雇用創出事業」をスタート。
全国の中核市としては初めて東京大学先端科学技術研究センターの近藤武夫教授が提唱する「超短時間雇用モデル」を取り入れた、先進都市です。
「岐阜市超短時間ワーク応援センター」は、中間支援を担う専門機関として企業・求職者をサポートしています。

※超短時間雇用創出事業について：岐阜市超短時間雇用ポータルサイト、岐阜市超短時間雇用X

出典：社会福祉法人舟伏 岐阜市超短時間ワーク応援センター

課題：行政区分の壁

地域の支援機関の取り組み



「働く」をはじめるために。

キャリア支援プログラム
キャリア/プロ

働くこと・就職活動が不安なあなたへ。

社会にでるための準備をはじめませんか？

あなたのペースに合わせてサポートします。

出典：一般社団法人サステイナブル・サポート



コミュニケーションが苦手な学生対象 就職準備プログラム

働くチカラPROJECT

すべて無料！

働くチカラPROJECTは「働くための土台をつくり、自信をつけること」をコンセプトに、学生のみなさんの就職後の社会人生活がより良いものになることを願って、さまざまな支援メニューで、学生のみなさんをサポートいたします！



こんな悩みをお持ちの学生の方にオススメ！

- コミュニケーションに不安がある…
- 働くイメージが持てない…
- 就職活動に向けて、何をすべきか知りたい
- 自分にどんな仕事が合うのかわからない…

プログラム

<対象>

- ・コミュニケーションが苦手な
大学生 / 院生 / 短大生 / 専門学校生 / 既卒生 / 高校3年

※関係者の方へ：対象となる方へぜひご案内ください
※個別就職相談も可能です！（別日予約制）



出典：株式会社Notoカレッジ

障害のある学生のための就活支援サービス

**家でも就活
オンライン**

Power by  **Boosterキャリア**

> 無料登録

- ✓ **完全無料**
- ✓ **障害学生に特化**
- ✓ **未診断・グレーでもOK**
- ✓ **新卒の障害求人数多**
- ✓ **企業・大学と連携**



全国の大学
350校以上と
情報提携



障害学生
2000名以上の
支援実績



就活セミナー
平均満足度
95%以上

出典：株式会社エンカレッジ

「のりしろ」づくりのために

大学	アウトソーシング（≠丸投げ）の視点を持つ
支援機関	○強みと対象者が明確な取り組み、プログラム ×どんな学生でも紹介してください
企業	ぜひ一度「大学」を見に来てください ぜひ一度「企業」を見せてください

コラボレーションの前にコミュニケーション

連携よりも相補性

「のりしろ」づくり：タウンミーティング

- 東京大学PHED、京都大学HEAPの支援を受けて、岐阜エリアはこれまで4回開催（2020、2021、2024、2025）
- 大学が主催とならないことで「地域づくり」を意識
- 中小企業家同友会との貴重な関係づくりの場

令和6年度 障がい者就労支援圏ネットワーク事業

障害学生支援と就労移行に関する情報交換会 <岐阜エリア>

参加無料

2024.12.10(火)
15:00-18:00 (受付14:30-)
◎岐阜県障がい者総合就労支援センター 大会議室
(岐阜市学園町2丁目33番地)

※お車で越しの方は、世界イベント村ぎふ駐車場(有料)をご利用ください。

プログラム

15:00 開会
15:10 ◆東京大学 PHED/京都大学 HEAPの取り組みの紹介
◆地域の取り組み紹介 I
清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ
『障害学生のキャリア移行を目指した支援事例』
◆地域の取り組み紹介 II
中小企業家同友会加入企業
『企業の立場で感じる障害者雇用の課題や展望』(仮)

16:10 休憩
16:20 意見交換会
18:00 閉会

参加方法

下記フォームよりお申し込み下さい。
【締切：12月4日(水)17:00】
⇒<https://forms.gle/RC5Kfw6Xb3Y3yu6>



※何らかの支援や情報保障が必要な方は0月0月(〇)までにご連絡ください。

対象

障害者雇用に関心のある企業
高等教育機関等
就労移行に関する支援機関
行政機関

定員50名

主催 清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ
共催 東京大学PHED(障害と高等教育に関するプラットフォーム)
岐阜大学保健管理センター
岐阜県岐阜地域福祉事務所

問合せ 清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ
担当 西村、加藤
TEL 058-215-8248
Mail nakapotsu@funabuse.jp

※この事業は岐阜県の委託を受けて実施します。

主催:岐阜市超短時間ワーク応援センター、岐阜大学保健管理センター、東京大学PHED(障害と高等教育に関するプラットフォーム)、京都大学HEAP
協力:岐阜県中小企業家同友会、清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ

障害学生支援と就労移行に関する情報交換会<岐阜エリア>

～超短時間雇用モデルの可能性～

参加費 無料

定員 **50**名
(先着順)

この度、岐阜エリアの「障害学生支援と超短時間雇用の可能性」についてタウンミーティング形式の会を企画いたしました。地域の実情にあわせてざっくりとした意見交換と、ネットワークを目的としております。高等教育機関(大学・短大・高专)の障害学生支援、キャリア支援と卒後の就労移行に関心のある方々に加え、就労移行に関する行政・団体の方々、また障害者雇用に関心のある企業の関係者の方々にお声をおかけしてお集まりいただきます。

対象

- ・障害者雇用に関心のある企業
- ・高等教育機関等
- ・就労移行に関する支援機関
- ・行政機関

ATライブラリー

話題提供

- ① 近藤武夫 (東京大学PHED)
- ② 宇佐美徹弥 (大垣市役所健康福祉部社会福祉課)
- ③ 大原真須美 (岐阜市超短時間ワーク応援センター)、
曾我社信 (有限会社豊和化学 取締役、中小企業家同友会)
- ④ 堀田亮 (岐阜大学)
- ⑤ 大前勝利 (京都大学HEAP)
- グループディスカッション

会場 岐阜県障がい者総合就労支援センター 大会議室
(岐阜市学園町2丁目33番地)

担当 岐阜市超短時間ワーク応援センター
大原・内藤・新家
058-215-8280
choutan@funabuse.jp

10/28 TUE
13:00 - 16:30
(12:00～ 受付&ATライブラリー)

申込方法 二次元コードを読み込みフォームを入力
申込期限 **10月23日(木)17:00**まで
その他 ・何らかの支援や情報保障が必要な方は、10月10日(金)までに
ご連絡ください。
・車でお越しの方は、世界イベント村ぎふ駐車場(有料)をご利用ください。



お申し込みは
こちらから

のりしろのある支援のメリット

学生	「自分のペース」で就活ができる→学業との兼ね合い 障害特性に理解がある中で就活、就職 ≠ 障害者雇用
大学（の 支援者）	学内では提供しきれないリソース スムーズな引継ぎと追跡
支援機関	在学中の学生の様子を知れる 無業卒業でもその後の利用がスムーズ
企業	人材確保の一助、在学中の学生の様子を知れる 二者関係ではない安心感

のりしろのある支援の実例

- 1年半不登校を親に隠し、退学と就職（製造業）を決めた発達障害特性のある学生
- 入退院を繰り返しながら卒業し、後に就職（B型事業所）した精神障害のある学生
- 指導教員との不和を乗り越えて卒業し、後に就職（警備会社）した発達障害特性のある学生

のりしろのある支援がめざすもの

- 大学、地域の支援機関、企業の三方よし
- 行く宛のない卒業生、退学者を生まない
- 「障害」学生に特化しない支援
- 特性理解のある企業へ就職、学生本人が納得する進路選択
- 岐阜、東海地域の（特に中小）企業へ就職＝地域貢献・活性化